



## 結プランニング 株式会社

【本社】〒259-1111  
神奈川県伊勢原市西富岡 1378-1

【支店】〒157-0066  
東京都世田谷区成城 7-21-19

### Company data

代表取締役

白井 佳貴

大工の父のもとで育ち、20歳で建築会社に就職。現場監督の仕事と並行して専門学校に通うなど勉強を重ねる。2019年6月に退職。個人事業主の現場監督を経て、同年12月に結プランニング(株)を創業した。「感謝して楽しむ」をモットーとしている。

### Personal data



# 貪欲な学習意欲を持ち続ける現場監督 何事にも感謝し楽しむ生き方を共有

鈴木 まずは、白井社長が独立するまでの歩みを教えてくださいませんか？

白井 もともと父が大工で、私はその背中を見ながら育ちました。それもあって、20歳のときから建築会社で現場監督の仕事を始めました。父が個人事業主になった33歳より早く、30歳で独立すると決めていましたね。予定どおり2019年6月に勤務先を退職し、初めはフリーの現場監督として活動しました。その後、すぐに元の会社の部下や一級建築士などの仲間が集まってきて、当社を設立したんです。

鈴木 現場監督として長くさまざまな現場に携わってきた代表から見て、優れた現場監督に必要なのはどのような要素だと思いますか？

白井 自分についてきてくれたり、いざ

というときに助けてくれたりする職人さんが多くいることではないでしょうか。現場監督は、積極的に知識を吸収する姿勢を持つことが大切だと思います。なぜなら、現場で適切な判断を下すためには、職人さんの知識や経験が頼りになることもあるからです。そのために必要なのは、日頃から「俺は現場監督だ。言うことを聞け」という偉そうな態度を取らないこと。このような態度では、大工・タイル・左官などそれぞれの道のプロである職人さんたちに、素直に「教えてください」と言えなくなってしまいますからね。その点、ありがたいことに私の周りには指導を仰げる職人さんが大勢いらっしゃいます。だからこそ、雰囲気の良い現場で早く、安く、良い建物を建てることができるんです。

鈴木 どのようにしてその豊富な人脈を築いてきたのが気になります。

白井 この仕事を始めたときから、現場のトイレ掃除などを率先してやってきました。そうすると、年上の職人さんばかりの現場でも空気が私のものになります。また、職人さん同士の関係をやわらげるなど緩衝材となることで、次第に現場監督として認めていただけました。

ただ、20代後半の頃は勘違いもありました。当時の私は課長として10人の部下を抱え天狗になっていましたね。結果を出せず、降格させられた私は過ちに気付きました。そこからは部下や職人さんたちと飲みに行くなど、仕事以外でも積極的にコミュニケーションを取っていったんです。

鈴木 社長から頂戴した名刺には「感謝して楽しむ」と大きく書いてあります。まさしく、この言葉通りの生きざまでいらっしゃるわけですね。

白井 はい。「感謝して楽しむ」とは、例えば人から怒られているときも、「自分のために時間とエネルギーを使ってくれてありがとう」ととらえること。私はこの生き方を大勢の人と共有し、いつまでも継続することを理念にしています。今後も、人とつながって必要とされる事業を長く続けたいですね！



Guest Comment  
鈴木 尚広 (野球評論家)

謙虚な姿勢で人様に教えを乞うことができる白井社長。良い出来事にも悪い出来事にも感謝する、まるで富士山のようにまっすぐな心の持ち主だと思いました。常にしっかりと前を向いて歩み続ける社長の将来がますます楽しみですね。さらなるご活躍を、私も心から応援しています！